

第1回 野辺地町商工会経営発達支援事業評価委員会議事録

招集通知日 平成28年10月31日(月)

開催日時 平成28年11月14日(月) 10時～

開催場所 野辺地町商工会2F 研修室

出席者数 4人

欠席者数 0人

出席委員氏名 古林兼一、橋本邦夫、蛭名進一、米田吉宏

オブザーバー出席 商工会長 井口 豊次
事務局 事務局長 澤田 則雄、経営指導員 堀 一男

議長氏名 古林兼一

議事録作成者氏名 委員長 古林 兼一

議事の経過と結果

定刻、事務局堀指導員は開会を宣し委嘱状交付を行う旨宣し、井口商工会長より委嘱状の交付が行われた。つづいて井口商工会長より開会のあいさつがあり「持続可能な地域づくりに向け、より良い支援のための検証と改善が重要であり外部の視点から意見をいただきたい」と述べ委員長に古林兼一を指名し案件に入る。

案件1 経営発達支援計画の概要について

審議に先立ち、澤田事務局長は本委員会設置に係る「経営発達支援計画事業評価委員会規程」の内容について説明し、議長は規定に基づき古林委員長に議長を務めていただく旨宣し、古林委員長は実効性のある支援に向け邁進したい旨を述べ審議に入る。

議長は、経営発達支援計画の内容について事務局に説明を求めたので、堀経営指導員は資料別紙1「経営発達支援事業の位置づけ」、別紙2「経営発達支援計画書」、別紙3「経営発達支援事業の概要」に基づき説明した。次に議長は意見や質問がないか諮ったところ、蛭名委員より本事業実施に伴う補助金の状況について質問があり、堀経営指導員は「伴走型小規模事業者支援推進事業」によって事業費が裏づけされており毎年事業費申請を行なっていく必要があると答弁した。又、蛭名委員は「生き生き常夜燈市場」などのPRに係る費用的なものは該当するのかどうかとの質問があり、堀指導員は、経営発達計画の地域経済の活性化に資する取組みとして計画されている内容と合致するものについては可能性としてある。と答弁し蛭名委員は了承した。次に議長は意見や質問がないか諮ったところ特に異論もなく全員了承した。

案件2 今後の進め方（スケジュール）について

議長は事務局に説明を求めたので堀経営指導委員より資料に基づいて説明し、第2回評価委員会を平成29年2月中旬に開催したい旨説明した。次に議長は意見や質問がないか諮ったところ全員了承した。

案件3 これまでの遂行状況について

議長は事務局に説明を求めたので堀経営指導員より資料別紙3に基づいて説明し、特に7月に認定されたことによる事業の個別優先度を図りながら実施していると説明した。次に議長は意見や質問がないか諮ったところ全員了承した。

案件4 意見交換

議長はこれまでの説明等を踏まえ意見交換をしたい旨発言した。次に事務局より本事業はボリュームがあり職員全体で行なうことが肝要であり、野辺地町商工会ならではの職員の資質向上も合わせて実施して行きたいと発言した。次に米田委員（専門家）より国における様々な支援事業はすべて事業計画作成が前提となっている。本事業も経営計画策定支援が大きな目的となっており、地域小規模事業者の経営計画策定が事業の持続的発展に不可欠であるとの国の認識であると発言した。議長はそのほか意見等諮ったところ特に意見等もなく終了した。

以上で全案件の審議を終了したので円滑な運営に対し謝意を述べ議長は閉会を宣した。
時に11時50分であった。

平成28年11月14日